

三内丸山通信

平成30年12月10日

青森県教育庁文化財保護課

三内丸山遺跡保存活用推進室

〒030-8570 青森市長島一丁目1-1
TEL (017) 734-9924
FAX (017) 734-8280

三内丸山 遺跡縄文時遊館

〒038-0031 青森市三内丸山305
TEL (017) 781-6078
FAX (017) 781-6103
URL <http://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

「新展示収蔵施設」一般公開中!

縄文時遊館の南側に完成した新しい施設は、地上1階地下1階建てで、延床面積約3000平方メートルの広さがあります。三内丸山遺跡のさまざまな活動や最新情報に触れながら、縄文文化への理解

を深めることができる施設と なっています。地上1階には、国宝や重要文化財などを展示することができる「企画展示室」や土器などの接合し復元し図化まで のようすをガラス越しに見学

できる「整理作業室」があります。地下1階へ吹き抜ける開放的なスペースの約6メートルの高さの壁面には、三内丸山遺跡から出土した5120個もの縄文土器のかけらを展示した「縄文ビッグウォール」、地下1階には、豊富な出土品が収められている状況をガラス越しに見学できる「一般収蔵庫」など、見どころ満載です。



【縄文ビッグウォール】



【新展示収蔵施設 外観】

新展示収蔵施設は、11月22日(木)から2月24日(日)まで公開しています。ぜひ皆さんも三内丸山遺跡ならではのスケールを感じてみてください。

この企画展では、3年間の発掘調査の様子を貴重な写真や映像を駆使しながら紹介します。パネルでは、当時の状況を振り返りながら、三内丸山遺跡の調査が先駆けとなった発見の数々を解説します。

また、発掘調査の様子を撮影した映像を公開し、新聞報道や、教科書の記述がこの発掘調査をきっかけに変化していった様子も紹介します。

子も紹介します。ギャラリーでは、関連するトピック展示を行います。

一般公開記念企画展

すべてはここから始まった
—三内丸山遺跡の熱い3年間—

1992(平成4)年から1994(平成6)年に行われた、三内丸山遺跡の大規模な発掘調査での数々の発見は、これまでの縄文時代の見方を大きく変えました。大規模な建造物が存在していたことを示すクリの木柱、長さ30mを超える大型竪穴建物跡の発見などが連続し、この発掘調査をきっかけに、日本中に縄文フィーバーが巻き起こりました。



【クリ木柱調査状況】



第42次発掘調査終了!

第42次調査では、5月21日から10月19日までの期間、遺跡北端部を中心に調査を行い、昨年度までの調査で見つかった縄文時代の沢跡や、盛土（土砂や土器、石器などを捨てた場所）の範囲を調べました。また、これまで調査が行われていなかった第6鉄塔西側についてもどのような遺構があるか調べました。

今年度の調査成果については3月9日（土）の遺跡報告会で発表しますので、ぜひお越しください。

沢跡の範囲は？

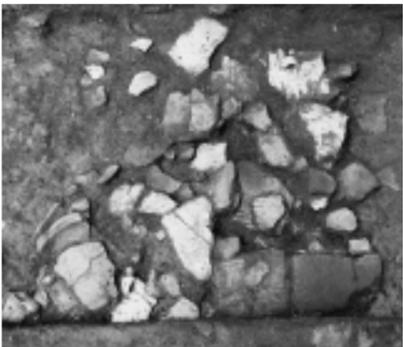
沢跡の範囲を調べるため、はじめに土層の特徴を確認しました。沢跡周辺には炭がたくさん混じった黒っぽい土層の広がりや確認され、隣に接する盛土の土層とは色や混入物の内容に違いがあることがわかりました。また、土層の特徴を調査区の断面から確認すると、盛土が沢跡によって浸食され、一部では人の手で削られた様子も確認できました。沢跡は流路を少しずつ変えながら断続的に流れて



【沢跡と盛土の土層断面】

盛土の範囲は？

遺跡北端部にある斜面の上側と下側に調査区を設定し掘り下げを行いました。その結果、斜面の一角を覆う盛土が調査区周辺に広がっていることがわかりました。



【盛土から出土した土器の破片】

また、盛土を一部掘り下げたところ、縄文時代前期末葉（約5000年前）～縄文時代中期後葉（約4100年前）

の土器や土などが捨てられていることがわかりました。縄文時代中期後葉に捨てられた土からは焼けて炭化したクリや骨などもみつかりました。

第6鉄塔地区西側の遺構について

第6鉄塔地区西側では、今回新たに縄文時代前期末葉（約4000年前）の竪穴建物跡や、土坑などの遺構が多数確認されました。

さんまる縄文体験

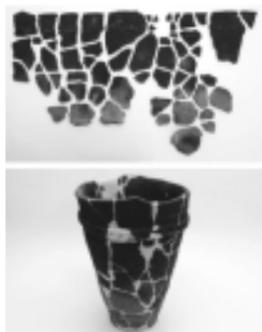


【レプリカをつくろうの様子】

三内丸山遺跡や縄文文化に触れる「さんまる縄文体験」を今年度も実施しました。6月には「遺跡を守ろう①縄文木こりで外来種を伐採しよう!」を行い、遺跡内に生息するニセアカシアを右の斧で伐採しました。夏休みには「レプリカを作ろう」を行い、本物の土偶から型を取り、流し込んで固めた石膏に色をつけレプリカを作りました。出路上がったレプリカと本物の土偶を展示ケースに入れて「さんまるミュージアム」で展示を行い、多くの来場者にも味わうことができました。

さんまる縄文体験は来年度も実施する予定です。内容等はホームページやチラシ等でお知らせしますのでご参加お待ちしております。

三内丸山遺跡の重要文化財修理中!



2点、骨角器1点を修理中です。修理後は、展示・収蔵を行うので、今後、みなさんに見学していただく機会を作っていきます。

3日目は、「世界最大の猪形土製品の折り紙オプジェ」でギネス世界記録に挑戦し、見事達成しました!猪形土製品の折り紙を作ったチャレンジャーの皆さま

2月9日（土）・10日（日）には、「三内丸山縄文冬祭り」を開催します!冬の遺跡を存分に楽しめる、雪と縄文のイベントたくさん企画しています。たくさんのご来場をお待ちしております!



【ギネス世界記録達成!!】

イベント実施報告・お知らせ

9月15日（土）～17日（祝）に、縄文に触れ・親しみ・楽しむ3days、「さんまるJOMONの日」を開催しました!3日間通して天気にも恵まれ、約12500名もの方々にご来場いただきました!

ありがとうございました。作成したオプジェは三内丸山遺跡返縄文時遊館に展示中ですので、ぜひご覧ください!

三内丸山遺跡のご案内

- 休館日**
12月30日～1月1日
平成31年3月18日～4月5日
平成31年度より、毎月第4日曜日（祝日の場合その翌日）
- 見学科**
無料（下欄参照）
- 開館時間**
10月～5月 : 9時～17時
GW中・6月～9月 : 9時～18時
（入場は閉館の30分前まで）
- さんまるミュージアムの定時案内**
10時30分～、13時30分～の2回（所要時間約20分）
- ボランティアガイドの定時案内**
1回目は9時15分から
2回目以降は10時から1時間ごと
最終回は16時から
（10月1日以降は15時30分が最終回）
所要時間：約50分
見学お問い合わせ先：三内丸山応援隊017-766-8282
- 公共交通機関**
□青森市営バス
JR青森駅から⑥番乗り場 三内丸山遺跡線
三内丸山遺跡前で下車 料金310円 約30～40分
□ねぶたん号
JR新青森駅東口
三内丸山遺跡前で下車 料金200円 約15分